



News Release

2021年2月25日

NITE（ナイト）

独立行政法人製品評価技術基盤機構

北海道支所

インターネットでの購入前にしっかり確認 ～連絡が取れない事業者や粗悪な製品に注意～

1. 事故の発生状況

2015年から2020年^{※1}の間にNITE（ナイト）に通知された製品事故情報^{※2}のうち、インターネットで購入した製品による事故は、北海道で合計23件ありました。その中で事業者への連絡が困難なものは9件発生しています。

(1) 年別事故発生件数

年別事故発生件数を表1に示します。

表1 年別事故発生件数（2015～2020年）

発生年度	合計
2015年	2
2016年	1
2017年	2
2018年	10
2019年	6
2020年	2
合計	23

(2) 被害状況別事故発生件数

被害状況別事故発生件数を表2に示します。

表2 被害状況別事故発生件数（2015～2020年）^{※3}

被害状況		合計
人的被害	死亡	0
	重傷	1
	軽傷	5
物的被害	拡大被害	12
	製品破損	3
被害なし・不明		2
合計		23

- (※1) 詳細確認中のため、2020年は参考値とする。
- (※2) 消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故やヒヤリハット情報（被害なし）を含める。
- (※3) 人的被害と物的被害が同時に発生している場合は、人的被害の最も重篤な分類でカウントし、物的被害には重複カウントしない。製品本体のみの被害（製品破損）に留まらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としている。

2. 主な事故事例

(1) プロジェクター

○2015年9月（北海道、50歳代・男性、使用期間約10年5か月、拡大被害）

事故内容：ネット通販で購入したプロジェクターの電源コード部及び周辺を焼損する火災が発生した。

事故原因：プロジェクターの電源コードのコネクターに含まれる難燃剤に加工不十分な状態のものが使用されたため、温度・湿度等の影響によって空気中の水分と反応して導電性物質が生成され、コネクター内部の端子間が絶縁劣化し、トラッキング現象を生じて、出火に至ったものと推定される。

なお、当該製品はリコールが行われている製品であったが、使用者はリコール対象製品であることを知らなかった。

(2) ノズル変換アダプター（ガスボンベ用）

○2018年7月（北海道、60歳代・男性、使用期間1回、製品破損）

事故内容：ネット通販で購入したガスボンベ用ノズル変換アダプターを接続してガストーチを使用したところ、接続部から漏れたガスに引火した。

事故原因：カセットこんろ用ガスボンベとの接続部分のネジが緩んで隙間が生じていたため、隙間からガスが漏洩し、ガストーチの点火時に引火したものと推定される。インターネットモールで購入したものだったが、中国の製造事業者名しか記載されておらず、輸入事業者の電話番号などは不明であった。

(3) モバイルバッテリー

○2018年9月（北海道、20歳代・男性、使用期間1回、拡大被害）

事故内容：ネット通販で購入したモバイルバッテリーから出火して周辺を焼損した。

事故原因：バッテリーが内部ショートして異常発熱し、焼損したものと推定される。インターネットモールで購入したものだったが、中国の製造事業者名しか記載されておらず、輸入事業者の電話番号などは不明であった。

3. インターネット購入の事故を防ぐポイント

- ①購入前に事業者の電話番号や問い合わせ窓口の確認をする。
- ②事業者のホームページに非純正品に関する注意喚起が掲載されていないか確認をする。
- ③過去に事故が発生していないか確認をする。

4. 事故の実験映像について

事故の実験映像及び写真をご希望の場合は、下記の間い合わせ先までご連絡ください。

なお、映像をご使用の際、クレジットは「製品評価技術基盤機構+NITE のロゴ」としてください。

(本件に関する問い合わせ先)

〒060-0808 北海道札幌市北区北八条西2丁目

札幌第1合同庁舎 4階

独立行政法人製品評価技術基盤機構 北海道支所

担当者:鈴木、下川

電話:011-709-2324